

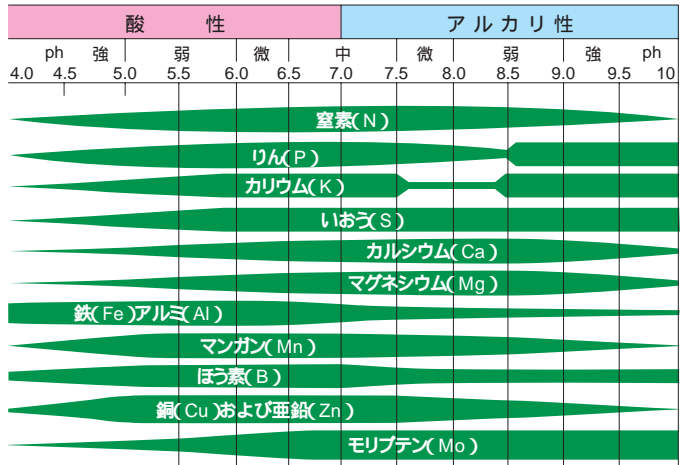
農産物づくりは土壌診断から

【EC・pHに関する知識】

ECは人の血圧、pHは人の体温に例えられ、土壌の健康のパロメーターとして表されます。この2つの項目を測定すれば大体の土の状態がわかります。

EC（電気伝導度）

土壌中にある様々な物質のイオン濃度の総量をあらわします。チッ素などの肥料成分はイオン化された状態で植物に吸収されるため、土中に含まれている肥料の総量をあらわしています。イオンの量が多いと電気抵抗が大きくなるため数値が高くなります。植物にとって0.2～0.4mS/cmの範囲内が生育に適し、1.0mS/cm以上では濃度障害が発生しやすくなります。



土壌の反応(pH)と肥料要素の溶解・利用度

pH（土壌酸度）

pHは水素イオン濃度のことです。園芸では土壌酸度のことを表します。pH7が中性で、それより小さいと酸性、大きいとアルカリ性です。

植物には生育に適した土壌酸度があります。養分の吸収に土の酸度が大きく影響を与えるからです。一般的にはpH5～pH7の弱酸性の範囲が生育に適し、どの肥料成分も吸収しやすくなります。

次回は、分析項目の石灰(CaO)について詳しく解説します。



農機自燃部コーナー

タイヤの基礎知識

役割 タイヤは、自動車全体を支え、様々な装置の働きを路面に伝えると共にドライバーの安全を守る役割も果たしています。

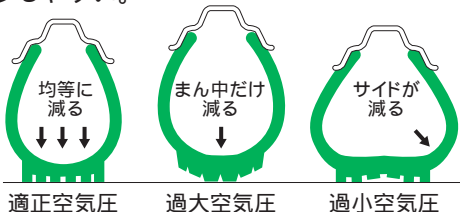
タイヤの正しい使用方法

空気圧

安全点検での測定および調整は、タイヤの冷えているときに行い、自動車メーカーの指定する空気圧に調整します。

- 1) 空気圧が低い場合
 - ・ 操縦安定性が悪い。
 - ・ 燃費が悪く、タイヤの寿命も短くなる
- 2) 空気圧が高い場合
 - ・ 乗り心地が悪い。
 - ・ 車体各部を痛め、故障を誘発しやすい。
 - ・ スリップしやすい。

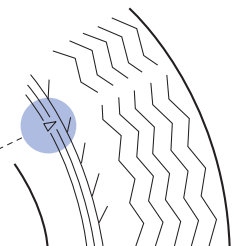
タイヤの空気圧



交換基準

- ・ 残溝のチェック
- ・ タイヤのスリップサインを確認しましょう

スリップサイン



ローテーション

タイヤの摩耗の度合いは前輪と後輪では異なります。定期的なローテーション(位置交換)により摩耗の度合いを均一にし、タイヤの寿命を延ばすことができます。

* ご不明な点は燃料課または給油所までお問い合わせください。

電話：燃料課 25 - 3690